

## 市民参加部会開催案内(第 12 回) 議事メモ

○日時 令和 5 年 6 月 8 日(木) 13 時 30 分～  
○場所 市民活動サポートセンター  
市民参加部会： 南山委員・依田委員・柴田委員・谷合委員  
市民協働課： 原口副主査・小山主事  
社会福祉協議会： 八東  
欠席： なし

### 配布資料

第 12 回市民参加部会 式次第  
資料 1 第 12 回市民参加部会作業スケジュール  
資料 2 202311 市民団体ワークショップ企画募集要項.docx  
資料 3 202311 市民団体ワークショップ企画募集要項 ver2.docx  
資料 4 交流会企画申込書.xlsx  
資料 5 団体応募企画書.xlsx  
資料 6 市民参加事業団体企画書必要事項.pdf  
資料 7 市民交流参加事業 交流会チラシ案

### 参考資料

## 次第

### 議題 1 現在進行中の事業の進捗状況について

#### 1. センターイメージチェンジ事業

ワークショップ制作物展示期間について

現在展示中のワークショップ制作物の展示期間について協議し、7 月 21 日から 8 月上旬にかけて、約 2 週間の自由追加期間を設けて、参加型でコンテンツの追加を行うこととなった。5 月のワークショップの参加者にはメールで企画の概要を伝えるとともに、この期間は追加の制作物を作成できる台を展示物のそばに設置して一般の来場者の制作物の追加も可能にすることとなった。

追加状況を確認してから展示期間を再検討することとなった。

講師の相澤さんのインスタグラムの投稿に掲載されている写真についても議論され、集合写真の掲載には問題がある可能性が指摘された。しばらく様子を見るが、最低限、公開期間を設定してもらう必要があることを南山さんから伝えていただくことになった。

パネル展示(企業出展)申し込み状況確認

企業からの応募はなく、引き続き委員から市内で活動する企業に CSR 活動を PR するパネルの展示を要請してゆくことになった。

## 議論 2 今後の事業の準備スケジュールについて

### 1. 市民交流参加事業

西蔭先生の講演会の準備日程について(依田委員)

資料 7 市民交流参加事業 交流会チラシ案を元に依田委員から企画の準備状況が報告された。中段の紹介文について議論され、一部修正されることになった。また、参加者への連絡期間などを考慮して申し込み締め切り日を 8 月 31 日(木)にすることとなった。

\*\* 会議後に広報ふなばしへの記事掲載日程について、団体支援部会の企画の記事との重複がみつきり、これに伴って、広報ふなばしへの記事掲載と募集の開始が 8 月 15 日に変更されることになった。募集期間が 2 週間と短縮されるが、募集期間を明示することで企画自体の PR は早めに実施することで対応することになった。

企業を講師とした交流会準備について(柴田委員)

セブンイレブンジャパンの包括関係協定締結が進んでいないので、そちらとの交流会企画についても準備ができない状況が続いている。またシモジマとの準備についても現状は進められていないことが報告された。

学術・教養系の方を講師とする講演会について(柴田委員)

立教大学の藤井先生と連絡をとり、講演会担当の内諾が得られたことが報告された。

6 月 12 日(月)に柴田委員が訪問して打ち合わせをしていくことが報告された。

開催日程などについては、昨年度の向後先生の講演会の準備スケジュールを目安として、藤井先生のご都合と駅前総合窓口センターの開室日程を考慮して開催日を決定し、準備を進めることになった。

公募型交流会について

資料 2 - 5 に基づいて 11 月 18 日または 19 日に市民活動サポートセンターを会場として実施する交流会を担当する市民団体を公募する公募型交流会について検討した。

企画における経費の考え方について、市民協働課から 2 時間のイベントに対して、講師料・材料費などすべて込みで 12000 円の謝金の中で実施していただくなくてはならないことが報告され、それに合わせた資料の修正が行われた。

主な修正点

資料 2 202311 市民団体ワークショップ企画募集要項.docx

一部文言の修正をする。”1 時間当たり 6000 円の謝金が支払われます(経費などはこの中でご対応ください)。”というような文章を追加する。スケジュールの中に”担当候補団体へのヒアリング”を追加する。

資料 3 202311 市民団体ワークショップ企画募集要項 ver2.docx

“利用できる機材”という項目を追加する。”1 時間当たり 6000 円の謝金が支払われます(経費などはこの中でご対応ください)。”というような文章を追加する。スケジュールの中に”担当候補団体へのヒアリング”を追加する。

資料 4 交流会企画申込書.xlsx

団体概要や活動状況を記入する欄を追加し、概算経費の欄を削除

資料 5 団体応募企画書.xlsx

団体概要や活動状況を記入する欄を追加し、使用する機材物品の欄から”調達方法や金額及び金額の負担”を削除する。

## 市民団体企画公募日程

- 6 月 企画の概要がまとまり次第、サポートセンター登録団体一斉配信メールやサポートセンター運営協議会としての SNS 等で担当団体を募集する予告を配信。
- 7 月 1 日～7 月 31 日 電子申請システムで交流会担当団体募集
- 8 月上旬 交流会担当団体選定 → 候補団体へのヒアリング → 担当団体決定
- 9 月上旬 広報原稿確定
- 10 月 1 日号 広報ふなばしで企画の参加者募集開始
- 11 月上旬 参加者募集締め切り
- 11 月中旬 講演会当日

## 交流会日程検討(2023 年上半期)

- 9 月 17 日(日) 西蔭先生講演会予定

## 交流会日程検討(2023 年下半期)

- 11 月 18 日または 19 日 市民団体企画
  - 1 月 ～ 3 月 学術・教養系の方を講師とする講演会
  - 1 月 ～ 3 月 企業企画

<次回開催予定> 令和 5 年 7 月 13 日 (木) 13 : 30～

以上